



みどりの風



令和5年11月27日発行

実りある行事となった文化祭

校長 安藤 晋哉

10月27日（金）、令和5年度の文化祭が開催されました。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の皆様には舞台の生観覧ではなく、限定配信する形でご覧いただいておりますが、今年は学年ごとの入場という形で、保護者の皆様に生徒たちの生き生きとした活動の様子を見ていただくことができました。

今年の文化祭のテーマは「Shigetomi Theater（しげとみシアター）～みんなの夢、上映中～」でした。オープニングムービーでは、生徒会執行部が校内いたるところで撮影した躍動感のある映像が流れ、来場者を歓迎しました。

舞台では各学年の構成劇や調べ学習の発表、英語暗唱、吹奏楽部演奏など、さまざまな発表が行われました。展示の部では、各学年がテーマに基づき、一人一人の力が結集されたモザイクアートや個人のテーマに基づいて調査研究したもの、夏休みの自由研究、授業や部活動で制作した作品など、変化に富んだ作品が各会場いっばいに展示されていきました。

その中でも構成劇はどの学年も力が入り、見ている人たちに感動を与えました。

1年生は、始良の魅力を紹介する調べ学習の発表に続き、ある中学校の生徒全員が悪の四天王に勇気・根気・元気という大切な心を奪われ、その場になかった3人の中学生が3つの心を奪い返すために四天王に戦いを挑む内容の劇でした。

2年生は「平和」をテーマに、映画上映にもなるベストセラー小説「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」を構成劇に仕上げました。映像やダンスなども織り交ぜた2年全員による力作で、見ている人の心に訴える感動作でした。この取組が認められ、2年生には大きなプレゼントが送られることになりました。（改めてお知らせします。）

3年生は、Desire Noteという構成劇。中学3年生の3人に「欲しい力」を書き込むと実現できるパワーノートが渡される。3人は自分の弱点を克服するためにそのノートをどこで、何に使うか迷うが、このノートがあることが勇気になり、弱点を克服する生活ができた。そこで、一人の生徒が、パワーノートは誰の心の中にもあることに気づく。「自分を信じて踏み出していこう」というメッセージがこもった素晴らしいものでした。

文化祭は、生徒たちが互いに努力を認めながら協力して良いものを作り出し、発表し合うことで、新たな気づきに遭遇したり、人間関係を豊かにしたりする価値ある行事です。

今年の文化祭も、生徒たちが創造性豊かなものを作り出すことに力を注ぎ、多くの学びと成長を得た一日となりました。

次年度もどのような文化祭になるか今から楽しみです。



1年生の劇



2年生の劇



3年生の劇



展示作品



モザイクアート